

# 平成 15 年度事業報告書

## 事業報告

自 平成 15 年 4 月 1 日

至 平成 16 年 3 月 31 日

### 【 】概 況

この一年わが国経済は、長期にわたる低迷で、依然として回復の兆しが見えず厳しい状況で推移しました。しかし一方ではライフスタイルの変化や高齢化社会の進展等社会状況の変化を背景に、「心の豊かさゆとり」ある生活を送る為に、様々なスポーツ活動を積極的に実践しようとする気運が高まっております。スポーツは益々身近なものになり、健康増進への欲求はさらに拡大するものと予想されます。

当財団は設立以来 25 年を経過し、本年度もその事業目的であるスポーツ科学の研究助成並びにオリンピック事業の推進、トップレベルの選手育成・強化を目的とした団体、また同時に国民スポーツのより一層の健全な普及・発展に寄与することを目的とした団体への助成を中心に活動を行うなど、関係者各位のご支援により所期の目的を達成することができました。

さらに、機関誌として「デサントスポーツ科学」Vol. 24 を刊行し前年度の事業成果を広く公表いたしました。

### 【 】研究及び助成報告

(1)健康の増進と体力の向上及びスポーツ関連科学に関する研究委託並びに調査・研究に対する助成。

#### 1) 研究委託 (200 万円)

理事会の諮問機関である学術委員会において慎重に審議した結果、平成 15 年度の学術研究課題として、以下が最もふさわしいものとし、理事会の承認を得て研究委託を行いました。

「高齢者を中心とした身体能力の向上」

研究リーダー 名古屋大学 佐藤 祐造

#### 2) 課題研究 (100 万円)

学術委員会・選考委員会選定テーマ「快適性の追求」の調査・研究に対する助成で、審議の結果、応募総数 5 件のうち、下記 1 件に対し助成を行いました。

「スポーツ選手の快適感昂揚のためのフラクタル理論を用いた自己相似映像の生成とその評価」

研究リーダー 京都工芸繊維大学 森本 一成

### 3) 自由課題研究 (総額 940 万円)

体育学・健康科学・人間工学・被服科学・運動施設工学等健康の増進と体力の向上に関わる学術及びその他広くスポーツ振興に寄与する学術研究に関する講座をもつ大学、これに準ずる研究機関に所属する個人またはグループ、及び高校生から幼児までの教育機関に奉職しており、前述した分野で研究または調査活動を行っている個人またはグループに対し公募いたしました結果、156 件にのぼる応募の中から当財団学術委員会・選考委員会によりまして慎重かつ厳正に審査を行ない、次の 23 件に決定、理事会の承認を得て研究助成を行いました。

#### 最優秀入選 (100 万円)

「冷却、温熱およびマッサージ刺激が筋・腱の力学的特性に及ぼす影響」

東京大学

久保 啓太郎

#### 優秀入選 (各 50 万円)

「車椅子競技者の寒冷下運動時における自律性体温調節とホルモン応答」

長崎大学

管原 正志

「湿度変化がスポーツウェア着用時における運動時の体温調節反応に及ぼす影響」

神戸大学

井上 真理

「減量を目的とした食事制限および運動種目の違いが血液流動性に与える影響」

筑波大学

片山 靖富

「高齢者における客観的に測定された身体活動指標の規定要因を解明するための前向き研究」

東京都老人総合研究所

岡 浩一朗

「運動時の温熱ストレスを軽減するための冷却部位に関する基礎的研究」

京都工芸繊維大学

芳田 哲也

「運動に伴う消化器・免疫病態の解析と予防飲料水の開発」

大阪市立大学

井上 正康

#### 入選 (各 40 万円)

「高血圧者における水中浸漬時の水圧が筋血流動態に及ぼす影響について」

国土館大学

須藤 明治

「運動療法による降圧効果出現機序の解明 - Force - Arterial pressure 応答定量化装置の開発 - 」

木更津工業高等専門学校

清野 哲也

「加齢により減弱したインスリン作用を改善する運動トレーニング効果に関する研究」

名古屋大学 長崎 大

「競泳パフォーマンスの限定要因に関する検討 - MAD システムを用いた力学的・代謝的解析より - 」

鹿屋体育大学 荻田 太

「運動介入が青年女性正常体重肥満者（隠れ肥満者）の血中脂質，糖代謝，アデノサイトカイン，および心臓自律神経活動機能に及ぼす影響」

北海道大学 石井 好二郎

「比較的短期の高脂肪食摂取が血液性状及び運動時のエネルギー代謝に及ぼす影響」

奈良教育大学 中谷 昭

#### 佳作入選（各 30 万円）

「中高年者の循環器系自律神経調節に及ぼす入浴および運動後入浴の影響」

吉備国際大学 松井 健

「インソールの材質の違いがランニングに伴う溶血に及ぼす影響」

名古屋工業大学 伊藤 宏

「運動機能に関連する脳に加齢変化を視覚化する：機能的 MRI による研究」

九州大学 谷脇 考恭

「襟元開口部の違いが上肢圧迫時の代償性体温調節反応に及ぼす影響」

神戸女子大学 吉田 美奈子

「陸上競技長距離選手の鉄剤摂取が生体に及ぼす影響について」

岐阜大学 今井 一

「筋萎縮に対する運動の抑制効果と熱ショック蛋白質 70 との関連性」

東京慈恵会医科大学 山内 秀樹

「スポーツに起因する下顎骨骨折様式に及ぼす親知らずの影響」

大阪大学歯学部附属病院 飯田 征二

「ライフスタイルと骨代謝関連遺伝子多型性等が、転倒による骨折予防の一助としての骨密度の長期的加齢変化に及ぼす影響」

北陸体力科学研究所 碓井 外幸

「水分と大気を呼吸する知能布によるインテリジェント快適スポーツウェアの試作」

大阪府立大学 大久保 雅章

「地面反力からみたランニングシューズの緩衝機能差とその差への適応的变化について」

大阪大学 木下 博

以上、研究委託 1 件、課題研究 1 件、自由課題研究 23 件の研究成果報告につきまして  
は、平成 16 年 6 月発行予定の機関誌「デサントスポーツ科学」Vol.25 において広くわが  
国の研究機関、関係者に公表いたします。

(2)スポーツの振興・発展を目的とする団体の助成（500 万円）

オリンピック事業の推進ならびにトップレベルの選手育成・強化を目的とし  
財団法人日本オリンピック委員会に、また、国民スポーツのより一層の健全な普及・発  
展に寄与することを目的として財団法人日本体育協会にそれぞれ 250 万円の助成を行  
いました。

(3)スポーツ科学の国際交流を目的とする団体の助成（100 万円）

諸外国とのスポーツ科学における人的・学問的交流を積極的に推進するため、  
日本体力医学会国際交流基金への助成を行いました。

【 】活動報告

(1)機関誌「デサントスポーツ科学」Vol.24 発行

平成 15 年 6 月

(2)第 25 回定時総会及び助成金目録贈呈式

日時：平成 15 年 6 月 5 日（木）

11:30～12:00 理事会・評議員会

12:00～12:30 助成金目録贈呈式

12:30～13:30 懇親会

場所：株式会社 デサント 東京オフィス

議題：平成 14 年度事業報告書承認の件

平成 14 年度収支決算書承認の件

理事・監事・評議員選任の件

株主権の行使について

選考委員委嘱の件

(3)第 12 回課題学術研究 第 25 回自由課題学術研究委託及び自由課題学術研究

助成金交付 平成 15 年 7 月 10 日

(4)第 13 回課題学術研究及び第 26 回自由課題学術研究公募開始

平成 15 年 9 月 1 日

(5)理事会（書面）

月日：平成15年9月30日（火）

議題：評議員1名選任について

(6)第12回課題学術研究、第25回自由課題学術研究委託及び自由課題学術研究  
成果報告書提出締切

平成15年11月25日

(7)第13回課題学術研究及び第26回自由課題学術研究公募締切

平成15年11月10日

(8)第13回課題学術研究及び第26回自由課題学術研究公募申請書審査

平成15年11月10日～平成16年2月10日

(9)財団法人日本オリンピック委員会ならびに財団法人日本体育協会への寄附金交付

平成15年12月25日

(10)日本体力医学会国際交流基金への寄附金交付

平成16年1月20日

(11)学術委員会・選考委員会

日時：平成16年3月5日（金） 12:00～14:30

場所：株式会社 デサント 東京オフィス

議題： 第26回学術研究委託テーマ選定の件  
第13回課題学術研究公募審査の件  
第26回自由課題学術研究公募審査の件  
第14回課題学術研究テーマ選定の件  
学術委員会内規改定の件  
その他

(12)理事会・評議員会（書面）

月日：平成16年3月23日（火）

議題：平成16年度事業計画書案承認の件  
平成16年度収支予算書案承認の件  
学術委員会内規改定の件

以上

# 平成15年度収支決算書

## 収支計算書

平成15年4月1日から平成16年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
<b>収入の部</b>				
1.基本財産運用収入	(15,300,000)	(15,300,172)	( 172)	
基本財産利息収入	15,300,000	15,300,172	172	
基本財産配当金収入	0	0	0	
2.雑 収 入	(10,000)	(17,842)	( 7,842)	
受 取 利 息	10,000	7,762	2,238	
雑 収 入	0	10,080	10,080	
3.寄 付 金 収 入	(0)	(0)	(0)	
寄付金収入	0	0	0	
4.特定預金取崩収入	(13,000,000)	(23,000,000)	( 10,000,000)	
助成金積立預金取崩	13,000,000	23,000,000	10,000,000	
当期収入合計	28,310,000	38,318,014	10,008,014	
前期繰越収支差額	5,310,098	5,300,810	9,288	
収入合計	33,620,098	43,618,824	9,998,726	
<b>支出の部</b>				
1.事 業 費	(28,400,000)	(27,220,718)	(1,179,282)	
(1)課題研究費	1,000,000	1,000,000	0	
(2)委託研究費	2,000,000	2,000,000	0	
(3)助成金支出	9,400,000	9,400,000	0	
(4)寄附金支出	6,000,000	6,000,000	0	
(5)資料収集調査費	2,000,000	1,375,000	625,000	
(6)印刷製本費	8,000,000	7,445,718	554,282	
2.管 理 費	(4,100,000)	(3,748,734)	(351,266)	
(1)給与手当	1,000,000	933,330	66,670	
(2)会議費	1,500,000	1,403,524	96,476	
(3)旅費交通費	1,200,000	1,206,000	6,000	
(4)通信運搬費	100,000	86,120	13,880	
(5)消耗品費	50,000	0	50,000	
(6)印刷製本費	100,000	0	100,000	
(7)雑 費	150,000	119,760	30,240	
3.特定預金支出	(0)	(10,000,000)	( 10,000,000)	
助成金積立預金	0	10,000,000	10,000,000	
4.予 備 費	(500,000)	(0)	(500,000)	
当期支出合計	33,000,000	40,969,452	7,969,452	
当期収支差額	4,690,000	2,651,438	2,038,562	
次期繰越収支差額	620,098	2,649,372	2,029,274	

# 正味財産増減計算書

平成15年4月1日から平成16年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額		
<b>増 加 の 部</b>			
1.資産増加額			
助成金積立預金	10,000,000	10,000,000	
増 加 額 合 計			10,000,000
<b>減 少 の 部</b>			
1.資産減少額			
当期収支差額	2,651,438		
助成金積立預金取崩	23,000,000	25,651,438	
減 少 額 合 計			25,651,438
当期正味財産減少額			15,651,438
前期繰越正味財産額			624,437,960
期末正味財産合計額			608,786,522

# 貸借対照表

平成16年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
<b>資 産 の 部</b>		
1.流動資産		
普通預金	2,649,372	
流動資産合計		2,649,372
2.固 定 資 産		
(1)基 本 財 産		
定期預金	572,877	
投資有価証券	575,564,273	
基本財産合計	576,137,150	
(2)その他の固定資産		
記念事業積立預金	10,000,000	
助成金積立預金	20,000,000	
その他の固定資産合計	30,000,000	
固定資産合計		606,137,150
資 産 合 計		608,786,522
<b>負 債 の 部</b>		
<b>正味財産の部</b>		
正味財産		608,786,522
(うち基本金)		576,137,150
(うち当期正味財産減少額)		15,651,438
負債及び正味財産合計		608,786,522

## 計 算 書 類 に 対 す る 注 記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

投資有価証券 …… 総平均法による原価法を採用している。

(2) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金（基本財産となるもの及び特定預金を除く）及び未収金・未払金など短期債権・債務を含めることにしている。なお、前期末及び当期末残高は

3. に記載のとおりである。

2. 基本財産の増減及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	572,877	0	0	572,877
投資有価証券	575,564,273	0	0	575,564,273
合計(基本金)	576,137,150	0	0	576,137,150

3. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	5,300,810	2,649,372

# 財 産 目 録

平成16年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金	額
<b>資 産 の 部</b>		
1.流動資産		
現金	0	
普通預金 三井住友銀行船場支店	1,249,369	
普通預金 北国銀行大阪支店	1,400,003	
流動資産合計		2,649,372
2.固定資産		
(1)基本財産		
定期預金 三井住友銀行船場支店	572,877	
投資有価証券		
1-0円建コーポラル債	100,000,000	
国債(北国銀行)	100,000,000	
東京湾横断道路債	299,427,123	
株式会社デサント株式(1,522,743株)	76,137,150	
基本財産合計	576,137,150	
(2)その他の固定資産		
記念事業積立預金		
三井住友銀行船場支店	10,000,000	
助成金積立預金		
三井住友銀行船場支店	20,000,000	
その他の固定資産合計	30,000,000	
固定資産合計		606,137,150
資産合計		608,786,522
<b>負 債 の 部</b>		
1.流動負債		
負債合計		0
正味財産		608,786,522